

【耕地防風林造成促進モデル事業】（令和5年度～）

本町における耕地防風林は、ほ場の大区画化や農業機械の大型化等による伐採により年々減少し、春先の強風により農地の表土が飛散し、移植を終えたビートの苗等に深刻な風害が発生している。

また、労働力不足が深刻になる中、耕地防風林の樹種の多くを占めるカラマツの落葉・落枝による春先の労働負担やGPS自動操舵トラクターへの悪影響などにより、耕地防風林が今後さらに伐採される恐れがある。

このことから、令和2・3年度に風向風速調査を実施した河北地区から、町の指定する植栽箇所の農地を所有又は耕作する者に苗木代、植栽費、下刈り費用をセットに補助する新たな事業を開始し、耕地防風林を効率的に造成することにより、農業被害の低減、美しい農村景観の維持・形成を目的に次のとおり実施する。（森林環境譲与税を活用）

なお、従来の耕地防風林保育造成事業による苗木代及び枝払いに係る補助は継続する。（農業振興基金を活用：1,300,000円）

1 令和5年度の植栽箇所

河北地区の西22号東側

2 モデル的な植栽例による支援額（100間：180m 2列植） × 10か所

苗木代	（カラマツ @150円 + トドマツ @345円） × 180本 × 1.1 = 98,010円
植栽費	（カラマツ @150円 + トドマツ @200円） × 180本 × 1.1 = 69,300円
下刈り費用	3m × 180m × 100円 × 1.1 = 59,400円
計	226,710円 × 10か所 = 2,267,100円